

臨床病理論7

火曜4限

医療経営学科

研究室 7階 第5研究室

江原 朗

炎症

- 有害な刺激への一連の防御反応
 - 退行性病変
 - 循環障害
 - 進行性病変

炎症の5大徴候

- 熱感：熱く感じる
- 発赤：局所の充血
- 腫脹：組織の炎症性浮腫
- 疼痛：滲出液による圧迫、
発痛物質産生
- 機能障害

炎症の原因物質

- 生物学的因子
 - 細菌：MRSA、O-157など
 - スピロヘータ
 - クラミジア
 - ウィルス
 - 真菌など
- 物理的因子：温熱、電気、放射線
- 化学的因子：酸・アルカリ、有毒ガス

炎症部位の修復過程

- 第1期：充血、発赤、熱感
- 第2期：腫脹、疼痛
- 第3期：肉芽組織形成、瘢痕

炎症第1期

- 組織破壊
- 組織因子 (chemical mediator) の放出
- 毛細血管拡張
- 毛細結果透過性亢進

炎症第2期

- 走化性因子により炎症細胞の遊走
(顆粒球、マクロファージ、リンパ球、線維芽細胞)
- 血栓形成

炎症第3期

- 炎症部位での組織修復
(リンパ球、形質細胞、結合組織再生)

炎症に関与する細胞群

- 好中球：ライソソーム顆粒を有し、貪食作用
- 好酸球：アレルギーや寄生虫感染で増殖
- 好塩基球：I型アレルギーを起こす。ヒスタミンなどの放出
- リンパ球：細胞性免疫、液性免疫
- マクロファージ：異物の貪食、抗原情報提示
- 形質細胞：抗体の産生

好中球

- 好中球:

- 異物の方に向かって進む遊走能

- 異物を取込んで処理する貪食能

- 異物の処理: 顆粒中に含まれる酵素や活性酸素により消化、殺菌。

好酸球

- 顆粒から特殊な蛋白質を放出して寄生虫やその虫卵を傷害
- 喘息や薬物アレルギーなどのアレルギー反応

好塩基球

- 顆粒中にアレルギー反応の原因(ヒスタミン、ロイコトリエン、ヘパリン)を含む
- 好塩基球の表面にある免疫グロブリンEに抗原が結合すると顆粒中からヒスタミンなどが放出されて即時型のアレルギー反応。

リンパ球

- Tリンパ球：骨髄で作られたリンパ球の一部は胸腺に達し、成熟。細胞性免疫に関与
- Bリンパ球：胸腺を通らなかつたリンパ球。液性免疫に関与

単球（マクロファージ）

- 単球は好中球に次いで異物を貪食する作用
- 単球は血中から組織内に入りマクロファージとなって、組織の異物を処理